



いしはら ひでかず
石原 英一

質問
QUESTION

回答
ANSWER

回答
ANSWER

役場東の道路「西結南
條線」整備の方向性は

維持管理の方針を決め
管理します

〔建設課長〕

早急に車両の減速を促
す措置を講じます

〔町長〕

質問 スマートICが開通し町内の交通利便性が向上する一方、交通量、特に大型車が多くなりました。特に懸念しているのが「西結南條線」。東蚊塚地区から北今ヶ淵地区に

かけて一車線区域が多く、ほとんど歩道もなく危険です。大型車がブレーキを踏む回数も多くなるため、道路に負担がかかり、傷みやすくなる原因にもなります。

何より振動や騒音が道路沿いの住民を悩ませています。せめてマンホール周りの最新舗装技術を施して振動を減らすこと、また、交通量調査や路面調査による道路の舗装構造基準の変更適用を要望します。建設課の見解は。

回答 現在、町では総延長約322 km

の道路を管理しています。建設課では道路維持年間委託業者による応急的な路面補修のほか、平成26年に町内主要の19路線、約30 kmの路面調査を実施しました。舗装補修が必要と

判断された路線は、約13・5 km。調査後6年間で舗装補修を終えた路線は約7・4 km（約55%）。マンホールは舗装補修の際、円形工法などの段差が生じにくい新技術の工法も採用し、騒音・振動の軽減に努めています。

また、今回補正予算計上した「委託料、道路補修計画・設計」により、交通量が増大した路線を調査し、交通量に応じた舗装補修基準の設定および補修計画の策定、維持管理の方針を定めます。それに基づき、道路の維持管理に努めます。

質問

町民の間では、

「一車線の区間は、いずれは広がるでしょよ？」という声も

出ているのですが、現時点での町長の見解は。

きました。東蚊塚から北今ヶ淵区間は未完成区間の一部です。しかし、移転補償などを考慮すると、現時点では早期の整備は困難な状況です。

回答

「西結南條線」は都市計画決定以降整備が進められて

当面、県道間アクセス道路や大垣江南線などの整備に重点をおいて、交通分散を促すとともに、歩道のない狭い道路は、通行車両に減速を促すための措置を、早期に講じます。



道路幅が急に狭くなり、大型車のすれちがいが困難な東蚊塚から北今ヶ淵地区